

指導者 福山 栄三

三原市立系崎小学校 特別支援学級

(自閉症・情緒)

自立活動「じょうずなつたえ方」

本時のねらい

気持ちを上手に伝えるためには、言葉だけでなく言い方や表情も大切であることを理解することができる。

(よりよい表現方法について、話し合うことができる◎)
(人間関係形成・社会形成能力★)

目指す子どもの姿

S 気持ちを上手に伝えると、相手だけでなく自分も嬉しい気持ちになる事に気付いている。
A 気持ちを上手に伝えるためには、言葉だけでなく言い方や表情も大切であることを理解している。

引き出したい具体的な表現

S 気持ちを上手に伝えられると、みんな(相手・自分・周り)が嬉しい気持ちになる。
A 気持ちを上手に伝えるには、「言葉」と「声」、「表情」の3つ全てが大切である。

深い学びの視点

- ① 既有知識を関連付けて考え、一階層上の知識を得る。
- ② 獲得した知識を汎用的に活用する。
- ③ 学習の目的を、より高い目的に価値付ける。

見通しや実行方法を発想する場面

⑤ 教師の実演を見て、上手な伝え方を考える。◎★

△落ちた本を拾ってもらう場面
T こういう場面で、拾ってもらった人はどうすればよいですか。
C 「ありがとうございます」と言えばよいと思います。

T (小さな声で実演する。)
C 声が小さくて聞こえませんか。

T 上手に伝えるには何が大切?

C 相手に伝わる声で言う事です。

T それでは、やってみよう。

△表情や目線等、児童が上手な伝え方のポイントに気付きやすくなるために、大げさに演じる。

C 笑顔で言った方がいいです。

C 目を見て言った方がいいです。

△思考を整理するために、指導者が児童の発言を基にコンセプトマップにまとめる。(板書)

△相手がどう感じたかを捉えさせるために、相手役のT2(介助員)がどう感じたかを伝える。

△児童の集中力を維持させ、上手な伝え方について理解させるために、適時児童に実演をさせる。

⑥ 3つのポイントを関連付けて考える。◎
T 「言葉」、「声」、「表情」で、一番大切なのは何?
Cどれも大切だと思います。
T どうして?
C 言葉だけではなく、目を見て笑顔で言わないと気持ちが伝わらないからです。

△相手を嬉しい気持ちにする上手な伝え方とは、伝えたい言葉を相手に聞こえる声で、笑顔で目を見て伝える事です。

⑦ 学習の価値を考える。★
T ポイントに注意してやってみよう。
△努力する友達を応援する場面
C 「○○君、頑張つて!」
C 「応援してくれてありがとう。」
T 今「ありがとう」と言われてどんな気持ちだった?
C 嬉しい気持ちになりました。
T 相手を嬉しい気持ちにできると、どんな良いことがある?
C 自分も嬉しい気持ちになれる!
T 見ていた先生も嬉しいよ!

⑧ 振り返りをする。★
T 今日の学習で感じたことは?
C 上手に伝えられるとみんな嬉しい気持ちになるので、今度上手に言ってみたいです。

対象と既存の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

① 日頃の生活を振り返る。
T 先生が、みんなに大切にしてほしいと思っている事は何でしたか?
C人や物を大切にすることです。
T そうだね。そしてみんなは、「悪口や呼び捨て、悪い言葉は使わない」と決めました。

これだけだと確かに嫌な気持ちはしないけれど、嬉しい気持ちにもならないよね。みんなはどんな事を言われると嬉しい気持ちになる?
C 「ありがとうございます」とか「上手だね。」と頑張つて!」と言われると嬉しいです。

T 人に言われて嬉しくなる言葉を上手に伝えるようになるのと、もつと素敵なクラスになりますね。

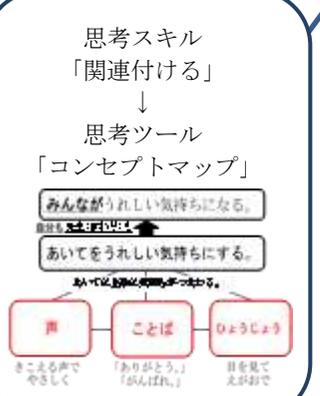
② 学習課題を立てる。
T 今日は、相手を嬉しい気持ちにする上手な伝え方について考えてみましょう。

学習課題
相手をうれしい気持ちにする上手な伝え方とはどんなものだろう。

③ ルーブリックを設定する。
T 相手を嬉しい気持ちにする上手な伝え方が分かればA、上手に伝えられるようになるかどうか考えられればSです。
△児童が明確な目標に向かえるように、分かりやすい言葉で提示する。

④ 活動の見通しをもつ。
T それでは今から、学校の中でよく見かける場面を先生たちで再現します。どのよう気持ちは伝えたらよいか、考えていきましょう。

対象と既存の知識との「ズレ」を認識



みんながうれしい気持ちになる。

自分も 先生(まわり)も



あいてをうれしい気持ちにする。

あいてに上手に気持ちがつたわる。

声

きこえる声で
やさしく

ことば

「ありがとう。」
「がんばれ。」

ひょうじょう

目を見て
えがおで